

エッジ活用講義 来年度開始

崇城大 双方向画像処理など学ぶ

【熊本】崇城大学は、ソニーセミコンダクタソリューションズ（神奈川県厚木市、清水照士社長）のサービス「AI TRIOS（アイトリオス）」を活用した講義を2023年度に始める。データを即時処理するエッジコンピューティングを活用してリアルタイムでの双方向画像処理などの技術に取り組む。

講義名は「IoTエッジニアリング」。情報学部3年次の学生を対象に課題探求型の授業を行う。講義で得た知見は「崇城大学IoT・AIセンター」でも活用する。

同センターは地域の



IoT・AIセンターではプロジェクターとカメラの画像処理を組み合わせ、人の動きに合わせた映像の投影が可能

デジタル変革（DX）推進のため20年に開設した。eスポーツ運営やメタバース（仮想空間）構築のための設備が整う。

同センターは今後、熊本県内の地域課題にDXで取り組むための

プラットフォーム（基盤）構築に乗り出す構え。企業や団体など学外との協力を円滑化するため、各者のデータやノウハウの共同利用がしやすいシステムづくりを目指す。新産業の創出にもつなげる。

の創出にもつなげる。